

付 錄

小山市年表

BC12,000 年以前	旧石器時代	○西ノ台遺跡・鉢形遺跡。石を打ち欠いただけの簡単な石器を利用し て、狩りと採集の生活がはじまる。 ○土器の使用がはじまる。
BC10,000 年 ころ	縄文時代 草創期	○弓矢の使用がはじまる。竪穴住居での生活がはじまる。
BC8,000 年 ころ	縄文時代 早期	○寒沢遺跡。
BC4,000 年 ころ	縄文時代 前期	○乙女北浦遺跡に人々が住みはじめる。気候が温暖になり、小山付近(野 木・藤岡町)に貝塚が見られる。
BC3,000 年 ころ	縄文時代 中期	○伝河原遺跡・寺野東遺跡。小山市域の各地で、このころの遺跡が多く 確認される。
BC2,000 年 ころ	縄文時代 後期	○雨ヶ谷宮遺跡。乙女北浦遺跡に大集落が営まれる。 ○寺野東遺跡に環状盛土遺構・木組遺構が造られる。
BC1,000 年 ころ	縄文時代 晩期	○乙女北浦遺跡・井岡遺跡・寺野東遺跡。
BC100～ AD239 年	弥生時代 後期	○乙女龜田遺跡。このころ、田間出土の小銅鐸がつくられる。
300 年	古墳時代 前期	○邪馬台国女王卑弥呼、魏に使を遣わし銅鏡 100 枚などを賜る。 ○萩山遺跡・溜ノ台遺跡。方形周溝墓がつくられる。
400 年	古墳時代 中期	○成沢遺跡(豪族の居館跡)。
500 年	古墳時代 後期	○桑 57 号墳・茶臼塚古墳がつくられる。 ○摩利支天塚古墳・琵琶塚古墳がつくられる。住居でのカマドの使用が はじまる。
600 年		○このころ、飯塚古墳群・牧ノ内古墳群・下泉古墳群などの群集墳が、 市域で多くつくられる。
700 年 ころ		○このころ、下野薬師寺が創建される。
708 年	和銅元年	○和同開珎がつくられる。(飯塚 44 号墳から出土)
741 年	天平 13 年	○聖武天皇、全国に国分寺・国分尼寺の設置を詔する。
747 年	天平 19 年	○このころ下野国分僧寺・国分尼寺が創建される。
761 年	天平宝字 5 年	○下野薬師寺に戒壇が設置される。(乙女不動原瓦窯から、薬師寺に瓦 が供給された)
770 年	宝亀元年	○弓削道鏡、下野薬師寺の別当となる。
773 年	宝亀 4 年	○下野国府に火災がおこり、正倉 14 棟とたくさんの穀物を焼失する。
916 年	延喜 16 年	○朝廷、下野国府に藤原秀郷ら 18 人の配流を重ねて下知する。
927 年	延長 5 年	○『延喜式』成る。その神名帳の中に、安房神社(栗宮)・胸形神社(寒 川)・高椅神社(高椅)が記載される。
929 年	延長 7 年	○下野国府、朝廷に藤原秀郷らの乱暴を訴え、近国 5 ヶ国に出兵の官符 が出される。
930 年 ころ	延長 8 年 ころ	○『和名類聚抄』成る。その中に、都賀郡小山・生馬(生駒)、寒川郡 真木(間々田付近)・池辺(寒川・網戸付近)の郷が見える。
939 年	天慶 2 年	○平将門が下野国府を攻略し、占拠する。
940 年	天慶 3 年	○藤原秀郷・平貞盛らが平将門を討ち取る。

1160年ころ		○小山政光が小山に居館を構える。
1180年	治承4年	○源頼朝が挙兵。寒川尼（政光妻）、隅田宿の頼朝陣営に参向。
1183年	寿永2年	○志田義広が鎌倉の頼朝に反旗をひるがえす。小山朝政らが野木宮の戦いでこれをやぶる。
1184年	元暦元年	○小山朝政ら木曾義仲討伐に従軍し、つづいて摂津一の谷に平家の軍勢をやぶる。のち源範頼に従い九州におもむき転戦。
1187年	文治3年	○寒川尼が寒川郡ならびに網戸郷の地頭職に補任される。
1189年	文治5年	○頼朝が奥州藤原氏を討伐。小山朝政ら従軍。小山政光、宇都宮で頼朝に駄餉（食事）を献ずる。
1199年	正治元年	○頼朝死去。梶原景時が諸将の弾劾を受け失脚。小山朝政が播磨国守護職となる。
1205年	元久2年	○宇都宮頼綱が幕府から謀叛の嫌疑をかけられる。小山朝政が追討を命ぜられるが、これを拒否する。
1218年	建保6年	○小山朝政が日光中宮祠に宝殿を寄進する。
1333年	正慶2年	○鎌倉幕府滅亡。
1335年	建武2年	○小山秀朝が武藏府中に北条時行の軍勢と戦い戦死する。足利尊氏が後醍醐天皇に反旗をひるがえし、小山氏もこれに与する。
1337年	建武4年	○北畠顕家が宇都宮に本拠をおいて小山城を攻め、小山朝氏が捕らえられる。
1343年	康永2年	○興良親王、大宝城から小山城に入る。
1372年	応安5年	○小山義政が武藏鷺宮神社を再興。
1380年	康暦2年	○小山義政が裳原（茂原）において宇都宮基綱と戦い戦死させる。鎌倉公方足利氏、これをとがめて小山を攻め、義政降伏する。
1381年	永徳元年	○小山義政が鷺城に拠って再度挙兵するも、鎌倉公方に降伏する。
1382年	永徳2年	○小山義政が三たび挙兵するも粕尾（栗野町）で自害。嫡子若犬丸は逃亡する。
1397年	永徳4年	○小山若犬丸が鎌倉公方の軍勢に追い詰められ会津で自害する。このころ結城基光の子泰朝、小山氏を再興する。
1440年	永享12年	○結城氏朝が足利持氏の遺児を擁して挙兵。小山持政は結城城攻めに加わり戦功を挙げる。
1563年	永禄6年	○上杉輝虎（謙信）が祇園城を攻略。小山秀綱は降伏し、人質を越後春日山城に送る。
1576年	天正4年	○北条氏照が祇園城を攻略。小山秀綱は常陸に逃れる。
1582年	天正10年	○小山秀綱、北条氏から祇園城への復帰を許される。
1590年	天正18年	○豊臣秀吉が北条氏の小田原城を攻略、天下統一成る。小山秀綱は北条方に味方したため領地を没収される。
1600年	慶長5年	○徳川家康が会津の上杉氏を征伐に向かう途中、小山で石田三成が挙兵したとの報告を受け、軍議を開く（小山評定）。この後に関ヶ原の戦いで勝利する。
1608年	慶長13年	○小山市の北西部地域において、榎本藩主本多忠純が検地を行う。
1613年	慶長18年	○小山市域において、小山藩主本多正純（忠純兄）が検地を行う。
1617年	元和3年	○家康の遺骸を駿河久能山より日光に改葬し、將軍秀忠が参詣。
1619年	元和5年	○小山藩主本多正純が宇都宮へ転封。小山藩は廃藩となる。
1623年	元和9年	○小山市域において、古河藩主永井直勝が検地を行う。

1637年	寛永 14年	○小山市東部地域において、幕府が検地を行う。
1663年	寛文 3年	○小山宿で大火。
1664～65年	寛文 4～5年	○小山市域において、古河藩主土井利重が検地を行う。
1689年	元禄 2年	○松尾芭蕉が「奥の細道」の旅に出、途中間々田宿に泊まる。下野国内では室の八島ほかを巡歴する。
1696年	元禄 9年	○日光街道の助郷制が確立する。
1744～46年	延享元～3年	○思川・鬼怒川通りにおいて、幕府が流作場の検地を行う。
1749年	寛延 2年	○迫間田・寒川村、田方の儀につき強訴する。翌年名主が退役を命ぜられる。
1750年	寛延 3年	○小山宿と助郷 22ヶ村の争論おこる。
1759年	宝暦 9年	○古河藩中郷（小山西部・大平東部の村々）で一揆おこる。
1771年	明和 8年	○小山市域で大ひでりがつづく。
1777年	安永 6年	○思川、雨降りにつき大満水となる。
1781年	天明元年	○思川、雨降りにつき大満水となる。
1783年	天明 3年	○思川、雨降りにつき大満水となる。
		○浅間山の大噴火で、小山市域にも火山灰が3～10cm降る。日中あかりが必要であったといわれる。
1786年	天明 6年	○思川、大満水となる。
1787年	天明 7年	○夏より秋まで大飢餓。黒本村では根・長芋・山芋などほりつくす。
1791年	寛政 3年	○古河領の百姓、年貢用捨米を願って乙女不動原へ集合する。
1800年	寛政 12年	○伊能忠敬が「蝦夷地測量」（第一次測量）の帰路 間々田宿に泊まる。
1801年	享和元年	○伊能忠敬が「全国測量」（第二次測量）の帰路 間々田宿に泊まる。
1803年	享和 2年	○伊能忠敬が「全国測量」（第三次測量）の往路 間々田宿に泊まる。
1823年	文政 6年	○水戸藩士小山秀斐、日光代参後小山宿天翁院にて法事を行う。その翌日の旧臣御目見得を行う。
1827年	文政 10年	○関東御取締出役下山逢吉出張にて小山宿最寄42ヶ村組合結成される。
1833～36年	天保 4～7年	○天保の大飢餓。このころ村々の人口減少が極限に達し、全国的に農村が荒廃する。
1840年	天保 11年	○水戸藩主徳川斉昭の追鳥狩りに、小山氏の旧臣200人が参加する。
1862年	文久 2年	○坂下門外の変。大橋訥庵が連座する。
1864年	元治元年	○水戸天狗党約300名が結城より小山に着く。壬生へ向かうが壬生藩の厳しい警備のため、飯塚宿に宿泊する。
1868年	慶応 4年	○生駒村へ近郷困窮人が集まり、付近の豪農に対し米金差し出しを強要する。
	明治元年	○戊辰戦争。旧幕府軍の大鳥圭介・土方歳三らが、小山で官軍と激戦をまじえる。
1871年	明治 4年	○各藩が県になる（廢藩置県）。下野国は栃木・宇都宮の2県となる。
1872年	明治 5年	○学制発布。小山郵便局が設けられる。
1873年	明治 6年	○宇都宮県が栃木県に合併される。
1885年	明治 18年	○地租改正条例布告。小山に警察出張所が設けられる。
1888年	明治 21年	○東北本線の大宮～宇都宮間開通。小山駅開業。
		○両毛線の小山～足利間開通。
		○市制・町村制が公布される。

1889年	明治 22 年	○寒川郡が下都賀郡に編入される。 ○町制が施行され、常光寺に町役場が置かれる。
1899年	明治 32 年	○栃木新道ができ、思川に架橋される。
1911年	明治 44 年	○小山町役場の庁舎落成。
1913年	大正 2 年	○小山にはじめて電灯がつく。
1922年	大正 11 年	○4月1日間々田村が町制を施行。
1926年	大正 15 年	○2月24日琵琶塚古墳が国指定史跡となる。
1931年	昭和 6 年	○日本無線電信、神鳥谷に小山送信所を開設。
1934年	昭和 9 年	○小山駅が新築される。
1936年	昭和 11 年	○3月31日栃木県庁焼失。 ○11月観晃橋、木造からコンクリートの永久橋に改築。 ○12月大谷村役場新築。
1938年	昭和 13 年	○7月小山・絹・穂積・間々田・生井の各地で水害発生。 ○10月3日栃木県庁再建。
1941年	昭和 16 年	○7月台風により生井地区に大被害。
1943年	昭和 18 年	○足利銀行小山支店新築。
1944年	昭和 19 年	○4月県内への疎開者2万人を超える。 ○11月小山駅前の強制疎開はじまる。
1945年	昭和 20 年	○3月小山町で大防空壕がつくられる。
1946年	昭和 21 年	○10月小山地区商工会議所の設立総会開催。
1947年	昭和 22 年	○3月豊田村で県内初の農地解放行われる。 ○9月5日昭和天皇、小山町を巡幸。
1948年	昭和 23 年	○9月15日キャサリン台風、生井村に大きな被害を与える。
1949年	昭和 24 年	○3月小山町商店街で「三夜通り」の名称が使われはじめめる。
1950年	昭和 25 年	○1月県内各市町村で第1回目の成人式が行われる。
1951年	昭和 26 年	○12月15日東北本線と水戸線を結ぶ小山短絡線新設。 ○観晃橋南の思川河原を会場に納涼花火大会開催。
1953年	昭和 28 年	○2月絹村に県立結城紬指導所設置。
1954年	昭和 29 年	○3月31日小山町・大谷村が合併して小山市が誕生。初代市長に山中泰輔氏就任。日本専売公社葉たばこ再乾燥工場、稻葉郷に設立。 ○市営野球場完成する。
1955年	昭和 30 年	○2月11日豊田、穂積、中村が合併して美田村誕生する。4月25日間々田町、生井村合併して、新しい間々田町誕生する。12月1日美田村大字外城、小山市に編入される。
1956年	昭和 31 年	○9月30日寒川村、間々田町に合併、桑村、絹村と合併して桑絹村となる。
1958年	昭和 33 年	○東北本線上野～宇都宮間電化される。 ○山中市長再選。
1960年	昭和 35 年	○6月10日両毛線複線化期成同盟会が発足する。
1961年	昭和 36 年	○小山市街地に上水道完成する。 ○市街地開発組合発足し、工場団地造成に着手する。

1962年	昭和37年	○7月1日桑絹村が町制を施行。 ○山中市長3選。 ○5月1日小山第一保育所開所。
1963年	昭和38年	○4月18日間々田町及び美田村、小山市に合併する。
1964年	昭和39年	○10月31日市役所庁舎、大字小山2315番地に竣工する。(現中央町1丁目1番1号) ○11月25日市制施行10周年記念祝賀式を挙行。
1965年	昭和40年	○4月1日旧市内住居表示実施。 ○4月10日小山第二保育所開所。 ○4月13日寒川出張所改築工事完成。 ○4月24日小山工業高等専門学校開校。 ○8月27日小山地区し尿処理場竣工。 ○9月30日桑絹町小山市に合併。 ○10月10日小山バイパス開通(現国道4号)。
1966年	昭和41年	○3月1日小山市農協発足。 ○4月29日市長に山中泰輔氏4選。 ○6月22日第二4号国道古河・宇都宮間建設促進期成同盟会が発足する。 ○8月1日少年補導センター開設。 ○9月30日永久選挙人名簿確定。
1967年	昭和42年	○11月12日国道50号線バイパス建設促進期成同盟が発足する。 ○1月1日国保世帯員7割給付。 ○4月1日市民相談室を開設。 ○4月1日小山・間々田・美田農業共済組合合併。 ○5月8日栃木市大光寺に農耕用ダム完成。
1968年	昭和43年	○11月1日国保病院基準看護を実施。 ○1月23日食肉センター完成。 ○2月23日消防庁舎竣工。 ○4月1日栃木県交通災害共済発足。 ○4月23日社会福祉法人小山市社会福祉協議会発足。 ○5月5日第一回選抜自治会対抗少年ソフトボール大会で小宅自治会チーム優勝。 ○5月21日間々田局の電話自動化。 ○5月25日養護老人ホーム「延寿荘」竣工。 ○7月14日市営野球場横倉工場団地に仮移設。 ○7月31日小山高等学校が作新学院を5-1で破り甲子園初出場なる。 ○7月31日中央町1丁目X字型横断歩道橋完成。 ○10月1日両毛線電化。 ○12月23日南半田住宅団地を小山市扶桑町とする。
1969年	昭和44年	○1月6日小山駅東臨時改札口ができる。 ○5月10日小山市交通指導員制度が発足、19名が委嘱される。 ○6月10日小山市の人口10万人となる。10万人目は中央町の山中清さんの長男彰ちゃん、市からベビーカーを贈る。 ○10月6日羽川小学校に交通安全教育センターができる。

1970年	昭和45年	<ul style="list-style-type: none"> ○12月23日小山第一小学校移転新築工事竣工。 ○2月19日小山駅東土地区画整理事業が総工費4億6千3百万円で完成。 ○3月13日小山市から暴力を追放して「明るく住みよい小山市の建設」を議会で議決し市・町内ぐるみ運動を展開する。 ○4月29日第5代目小山市長に栗田政夫氏初当選。 ○5月1日ごみの収集を一部民間委託。 ○6月10日若木町3丁目、駅東通りを住居表示実施。 ○6月13日間々田保育所が完成。 ○6月16日千駄塚で運搬中の塩素ガスが爆発。
		<ul style="list-style-type: none"> ○1月20日蒸気機関車C50小山号駅東公園へ展示。 ○1月26日市立小山病院の新病棟が完成。 ○2月アカシヤコース（ハイキングコース）が完成。 ○3月小山市振興計画基本構想（46～55年）及び第一期基本計画（46～50年）を策定する。 ○4月27日小山市と喜連川町の両穂積が姉妹地区の縁結びを行う。 ○5月14日栃木県東北新幹線対策協議会が発足する。 ○6月15日老人福祉センター開設。 ○6月小山市振興計画（46～55）ができる。 ○7月26日市、企業二者間の公害防止協定を締結。 ○10月小山市の市旗を制定。 ○10月12日東北新幹線小山駅停車が決定。
1971年	昭和46年	<ul style="list-style-type: none"> ○1月1日老人医療費の公費負担が実現。 ○1月28日小山市褒章勲章会が発足。 ○2月7日小山市のスローガン「伸ばそう小山、築こう文化」が決まる。 ○4月1日小山園芸高校開校。（現・小山北桜高校） ○4月1日小山市武道館開館。 ○4月1日消防本部桑分遣所開所。 ○4月1日小山第三保育所開所。 ○4月1日乳児医療費の無料化実現、同10月1日所得制限が撤廃される。 ○4月3日間々田公民館改築工事が完成。 ○4月6日小山第一小学校と小山第二小学校に市内初のスクールゾーンが設定される。 ○5月8日小野藤土地改良区が発足。 ○6月1日勤労青少年ホーム開館。 ○6月1日栃木県紬織物指導所移転改築工事が完成。 ○7月14日間中地内でナウマン象の第3臼歯の化石が発見される。 ○7月15日小山地区広域行政圏が指定される。（小山市、野木町、国分寺町、南河内町） ○7月17日小山大橋が開通。 ○7月25日向野地内で小山運動公園の建設に着工。
1972年	昭和47年	<ul style="list-style-type: none"> ○4月1日小山第三保育所開所。 ○4月1日乳児医療費の無料化実現、同10月1日所得制限が撤廃される。 ○4月3日間々田公民館改築工事が完成。 ○4月6日小山第一小学校と小山第二小学校に市内初のスクールゾーンが設定される。 ○5月8日小野藤土地改良区が発足。 ○6月1日勤労青少年ホーム開館。 ○6月1日栃木県紬織物指導所移転改築工事が完成。 ○7月14日間中地内でナウマン象の第3臼歯の化石が発見される。 ○7月15日小山地区広域行政圏が指定される。（小山市、野木町、国分寺町、南河内町） ○7月17日小山大橋が開通。 ○7月25日向野地内で小山運動公園の建設に着工。

1973年	昭和 48 年	<ul style="list-style-type: none"> ○12月25日東北新幹線の建設に着工。 ○2月21日城南宅地造成事業の保留地公売に上限価格を設定。(全国で初めて) ○2月22日田川放水路が完成。 ○3月31日し尿処理場増設工事が完成。 ○4月1日駅南町の住居表示を実施。 ○4月1日旭小学校開校。 ○4月1日小山土地開発公社が市庁舎内に発足。 ○5月31日間々田中学校で市内初の光化学スモッグの被害者がいる。 ○7月市民生活を明るくする会が発足。 ○7月プール未設置校9校にプール完成。 ○9月23日運動公園に初めての施設として野球場がオープン。 ○10月15日小山地区広域行政組合北部清掃センターが操業開始。 ○11月1日扶桑町の住居表示を実施。
		<ul style="list-style-type: none"> ○昭和48年の交通事故発生状況が発表され全国10万人以上の都市における交通事故死亡率が全国一となる。 ○1月1日国保の高額療養費支給制度を開始。 ○1月はしご付き消防ポンプ自動車を配置。 ○1月延島小学校に交通安全教育センターが完成。 ○3月小山市振興計画第二期基本計画(49~53年)策定する。 ○4月1日白鷗女子短期大学開校。 ○4月21日市長選挙栗田政夫氏再選なる。 ○5月1日城東保育所開所。 ○6月1日もみじ保育所開所。 ○6月小山第二小学校、豊田北小学校の改築工事が完成し、新校舎に移転。 ○6月12日第二工業団地の企業と市の間で公害防止協定に調印。 ○6月20日勤労青少年ホームに体育センターが完成。 ○10月スポーツ事故見舞金制度が出来る。 ○10月自然災害に弔慰金と救護資金貸出制度が出来る。 ○10月4日中島橋促進期成同盟が発足。 ○11月3日小山地区休日急患診療所が医師会病院内に発足。 ○11月20日小山地区県立高校増設期成同盟会が発足。 ○11月23日小山おはやし振興会で初のおはやしコンクール実施。 ○12月26日乙女土地区画整理組合が発足。
1975年	昭和 50 年	<ul style="list-style-type: none"> ○1月20日第一あけぼの地区画整理組合が発足。 ○2月3日下生井郵便局が上生井に移転し上生井郵便局になる。 ○4月1日小山運動公園に陸上競技場がオープン。 ○4月1日間々田駅東地区が住居表示によって「暁1~3丁目」となる。 ○4月1日出井街道(市道13号)の東北線との立体交差が完成。 ○4月1日法務大臣より間々田地区が「人権モデル地区広域指定」さ

		れる。
1976年	昭和 51 年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月 3日乙女小学校開校。 ○ 4月 11日小山地区広域行政事務組合による中央清掃センター（外城）完成。 ○ 4月 21日小山公共職業安定所が本郷町2丁目から若木町1丁目に移転し業務を開始。 ○ 5月 12日中久喜保育所開所。 ○ 9月 1日印鑑登録制度を改正。 ○ 9月 20日都市総合交通規制を実施。 ○ 10月 10日間々田中央商店街の歩道が完成。 ○ 10月 あさひ地区が県のモデルコミュニティー第1号に指定される。 ○ 11月 23日小山市桑養蚕組合養蚕部門で天皇杯。 ○ 11月 23・24日小山市商工祭で初めての歩行者天国を実施。 ○ 2月 5日長崎屋小山店において特設行政相談所を開設。 ○ 3月 28日第1回関東郷土芸能おはやしコンクール実施。 ○ 3月 31日小山第二中学校増改築工事が完成。 ○ 4月 1日桑絹地区有線放送廃止。 ○ 4月 1日「小山市史」編さん事業がはじまる。 ○ 4月 1日老人向け貸農園スタート。 ○ 4月 6日第48回全国選抜高校野球大会で小山高等学校が準優勝。 ○ 5月 31日網戸保育所開所。 ○ 6月 1日水処理センター通水式。（若木町、八幡町、天神町の各1、2丁目、花垣町1丁目の一部で供給開始） ○ 7月 29日小山高等学校が足利学園を4-0で破り8年ぶり2回目の甲子園出場となる。 ○ 8月 7日”市民の殿堂”中央市民会館建設に着工。 ○ 8月 15日豊田南小学校が改築完成。 ○ 10月 1日ひとり暮らしの老人を対象に福祉電話スタート。 ○ 12月 小山市振興計画基本構想(52~60年)及び前期基本計画(52~55年)を策定する。
1977年	昭和 52 年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1月 26日東北新幹線に第1号ロングレール敷設される。 ○ 1月 28日乙女不動原瓦窯跡確認調査行われる。 ○ 3月 1日市立小山病院で、最新鋭の「頭けい部レントゲン断層撮影装置」を導入。 ○ 4月 1日社会福祉協議会で、高額療養費等のつなぎ資金の貸付はじまる。 ○ 4月 1日城南区画整理事業記念会館完成。 ○ 4月 1日栃木県渡良瀬遊水地開発推進協議会が発足。 ○ 4月 4日小山城東小学校開校。 ○ 4月 5日羽川西小学校開校。 ○ 4月 11日若木保育所開所。 ○ 6月 20日市体協山岳部一行9名、北米マッキンリーに登頂。

1978年	昭和 53 年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 8月 18 日洪水により観光橋が陥没。 ○ 8月 25 日農家憲章を制定。 ○ 9月 1 日旧紡織物指導所が絹文化研修所にころも替え。 ○ 10月 27 日黒木橋開通。(旧黒木橋の約 1 キロメートル上流) ○ 3月 千駄塚に市営住宅完成。(初年度分) ○ 4月 1 日国体室を開設。 ○ 4月 5 日栄の葉会館がオープン。 ○ 5月 3 日市道喜沢一中久喜線の東北本線との立体交差仮開通。 ○ 5月 4 日出井保育所開所。 ○ 5月 10 日旧中央公民館取り壊す。 ○ 5月 11 日乙女不動原瓦窯跡が国指定史跡となる。 ○ 5月 31 日小山駅舎新装なる。 ○ 6月 5 日東北新幹線の試運転はじまる。 ○ 7月 10 日中央市民会館オープン。 ○ 7月 10 日市民憲章、市の花(オモイガワザ克拉)、市の木(シラカシ)、市の鳥(セグロセキレイ)、市歌、小山音頭を制定。 ○ 7月 21 日摩利支天塚古墳が国指定史跡となる。 ○ 7月 31 日小山郵便局が城山町3丁目から城東1丁目に移転。 ○ 8月 15 日中小学校・穂積小学校の全面改築完成。 ○ 10月 17 日城東土地区画整理地区の住居表示を実施。(城東1~7丁目まで)
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 1月 15 日第1回市民マラソン大会開催。 ○ 2月 間々田駅の橋上化完成。 ○ 3月 31 日城東区画整理事業完了。 ○ 3月 31 日小山市街地開発組合解散。 ○ 4月 7 日小山南高等学校開校。 ○ 5月 1 日粗大ゴミ処理施設操業開始。 ○ 5月 9 日間々田北保育所開所。 ○ 5月 11 日消防署間々田分署移転新築。 ○ 5月 25 日第1回防犯運動実施。 ○ 6月 30 日小山運動公園にクラブハウス完成オープン。 ○ 小山市の工業生産額が宇都宮市を抜き県内1位となる。(53年工業統計調査) ○ 11月 23 日県内で初めてボランティアグループにより「わたぼうしコンサート」開かれる。 ○ 11月 27 日渡良瀬遊水地国営公園建設促進周辺地域連絡協議会発足。 ○ 12月 7 日東北新幹線小山試験線で電車のスピード世界新記録 時速 319km をマーク。
1980年	昭和 55 年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1月 1 日市立小山病院と下都賀郡市第2医師会病院が統合し小山市民病院誕生。 ○ 3月 1 日在宅寝たきり老人のためにデイサービス事業開始。 ○ 4月 1 日中公民館が南小林から下河原田の現在地へ新築移転。

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月 4日小山第三中学校開校。 ○ 4月 5日あけぼの保育所開所。 ○ 4月 13日駅南児童センター開館。 ○ 4月 17日島田橋開通。 ○ 5月 2～5日中央市民会館で「ミレーとバルビゾンの画家たち展」が行われ入場者数 12,945 人にのぼる。 ○ 5月 31日間々田小学校老朽危険校舎増改築工事完成。 ○ 7月ボランティア連絡協議会発足。 ○ 8月雑排水浄化装置の設置者に補助金 30%の制度実施。 ○ 9月中央清掃センターに排水処理施設が完成し正式稼働。 ○ 10月 12～17日栃の葉国体秋季大会実施。(小山市はウェイトリфтинг、テニスの2種目を実施) ○ 11月 2日全日本吹奏楽コンクールで間々田中学校が銀賞を獲得。 ○ 11月 9日休日急患歯科診療所が開所。 ○ 12月 16日立木満願寺の朝日松(県指定天然記念物)が枯死のため指定解除。
1981年	昭和 56年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月国土利用小山市計画を策定する。(50～65年) ○ 3月小山市振興計画後期基本計画を策定する。(56～60年) ○ 4月城北保育所開所。 ○ 4月大谷公民館の建替工事完成開館。 ○ 4月 3日小山第三小学校開校。 ○ 4月市役所第二庁舎(旧郵便局舎)～福祉部、教育委員会が移転。 ○ 4月特定行政庁を設置、建築確認を市で実施。 ○ 6月 26日小山中学校が新設移転。 ○ 6月小山西変電所が本郷町1丁目に完成。 ○ 9月小山のおはやしがハワイでの「アロハイク」に招待参加し活躍。 ○ 10月助役二人制スタート、新助役に長瀬親次郎氏が就任。 ○ 11月第1回評定マラソン開催。
1982年	昭和 57年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1月小山地区環境衛生センター増設工事完成稼働開始。 ○ 1月福祉タクシー制度スタート。 ○ 東北新幹線建設に伴う工事用通路の維持管理について国有鉄道と覚書を締結。(57～62年) ○ 4月小山城南小学校開校。 ○ 4月城北児童センター開館。 ○ 4月桑公民館の建替工事完成開館。 ○ 5月 31日東北本線中距離輸送力増強促進期成同盟会が発足。 ○ 6月 23日東北新幹線暫定大宮駅始発として開業同日小山駅開業。 ○ 6月 29日羽川西浄水場仮通水。 ○ 10月 1日～24日市民会館において当市出身の「菊川京三翻刻模写絵展」開催。 ○ 11月 1日保健・福祉センター開館。 ○ 11月 1日小山市民病院増改築完成。

1983年	昭和 58 年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月 1 日名誉市民小平久雄氏顕彰式。 ○ 3月 13 日市立博物館開館。 ○ 4月 5 日小山城北小学校開校。 ○ 4月 広域行政、保健予防、環境衛生の 3 組合を統合し小山広域保健衛生組合が発足。 ○ 4月 小山職業訓練短期大学校開校。 ○ 4月 穂積公民館の建替工事完成開館。 ○ 5月 桑中学校増改築工事完了。 ○ 6月 全国第 1 号の羽川歩道橋が取り壊される。 ○ 7月 萱橋小学校増改築工事完了。 ○ 8月 間々田中学校吹奏楽部と間々田青少年吹奏楽団がイギリスの国際青少年音楽祭に招待出演。 ○ 9月 市シルバー人材センターが業務開始。 ○ 9月 12 日雇用促進住宅雨ヶ谷宿舎竣工。 ○ 11月 1 日消防署大谷分署始動。 ○ 11月 羽川西小学校 PTA が文部大臣賞受賞。
1984年	昭和 59 年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1月 市青年会館が横倉地内に開館。 ○ 2月 20 日豊田公民館建替工事完成開館。 ○ 3月 31 日小山市制施行 30 周年。 ○ 4月 若木小学校、間々田東小学校開校。 ○ 4月 体の不自由な人への市立図書館の宅配制度がスタート。 ○ 4月 網戸小学校の移転、全面増改築工事が完成。 ○ 5月 間々田小学校が全日本少年サッカー大会県予選で初優勝。 ○ 5月 17 日栃木県北関東横断道路建設促進協議会が発足。 ○ 6月 小山高等学校が全国総体県予選のテニス男子団体で優勝。 ○ 7月中クラブが全日本学童野球大会県予選で初優勝。 ○ 7月 KDD の小山新中央局舎が完成。 ○ 8月 21 日栗田政夫市長退任。 ○ 8月 6 日大字小山・神鳥谷の一部が住居表示によって三峯・神山となる。 ○ 8月 松沼が県学童少女ソフトボール大会、関東小学生ソフトボール大会で優勝。 ○ 9月 30 日小林武夫氏が市長就任。 ○ 10月 水道事業第三次拡張工事完成通水式。 ○ 11月 扶桑水処理センターで通水式。 ○ 11月 14 日市制 30 周年記念式典開催。 ○ 12月 小山市交響吹奏楽団がアフリカ飢餓救援コンサート開催。
1985年	昭和 60 年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1月 26 日初の健康まつり。 ○ 2月 中央公民館のテープライブラリーが開始。 ○ 3月 14 日国道 50 号線小山～岩舟間バイパスが暫定二車線で開通。 ○ 3月 14 日東北新幹線暫定上野駅始発として営業開始。 ○ 8月 3 6 時間連続ソフトボール大会開催。

1986年	昭和61年	<ul style="list-style-type: none"> ○2月1日大字乙女の一部を住居表示。 ○3月小山市振興計画基本構想（61～70年）及び前期基本計画（61～65年）を策定。 ○4月1日小山西高等学校開校。 ○4月1日白鷗大学（経営学部）開校。 ○12月10日新4号国道（鉢形～国道50号線間）が暫定二車線で開通。
1987年	昭和62年	<ul style="list-style-type: none"> ○3月16日建設省宇都宮国道工事事務所小山出張所が開所。 ○3月国土利用計画小山市計画を改定。（60～65年） ○4月3日小山城南中学校開校。
1988年	昭和63年	<ul style="list-style-type: none"> ○1月6日図書館コンピューター導入。 ○3月29日小山聖苑完成。 ○4月5日乙女中学校開校。 ○5月20日消防本部豊田分署移転新築完成。 ○7月13日船田章氏市長に初当選。 ○10月31日中島橋開通。
1989年	平成元年	<ul style="list-style-type: none"> ○1月26日小山市生涯教育推進本部設置。 ○2月27日小山市庁舎別館完成。 ○4月1日小山市まちづくり協会設立。 ○7月15日延島小学校改築工事完成。 ○10月26日小山市制35周年記念式典開催。 ○11月2日人口14万人突破。 ○11月23日産業フェスティバル小山35開催。
1990年	平成2年	<ul style="list-style-type: none"> ○3月6～11日文化センターで「小山市ゆかりの美術展」が開かれる。 ○7月1日老人福祉センター巡回バス運行開始。 ○9月15日銀の店事業スタート。 ○10月3日思川シンポジウム開催。 ○10月14日ビーフピア思川inおやま開催。
1991年	平成3年	<ul style="list-style-type: none"> ○3月12日小山氏城跡・鷺城跡、祇園城跡が国指定史跡となる。 ○3月小山市振興計画後期基本計画を策定。（H3～H7年） ○3月国土利用計画小山市計画を改定。（H2～H7年） ○3月25日北部清掃センター改築工事が完成。 ○6月18日岡儀平氏（中央町2丁目）が108歳で男性長寿日本一となる。 ○6月20日東北新幹線が東京乗り入れを開始。 ○7月27・28日第1回サマーフェスティバル開催。 ○8月3日フェスタ・イン鬼怒川開催。 ○8月18日小山・野木地区暴力追放総決起大会開催。 ○10月1日体育施設使用予約オンライン化スタート。 ○10月9～14日「小山市民友好訪中団」が遼寧省本渓市を訪問。 ○11月10日～12日中国本渓市人民代表大会の一団が市議会の招きで来市。

1992年	平成4年	<ul style="list-style-type: none"> ○2月4日第1回小山市文化振興大会開催。 ○3月地域情報化に関する意識調査まとまる。 ○3月小山市超長期ビジョン（西暦2020年に向けて）ができる。 ○3月2日大字中久喜の一部（東ニュータウン）に住居表示を実施。 ○3月13日「健康都市おやま」を宣言。 ○4月1日小山市財務会計（電子決裁）システムがスタート。 ○4月1日外国人相談窓口を開設。 ○4月白鷗大学に法学部新設。 ○4月8日新4号国道全線開通。 ○7月1日平和都市宣言。 ○7月5日船田章氏市長に再選。 ○7月30日観晃橋が4車線化全面開通。 ○8月6日全日本少年軟式野球大会で桑中クラブが全国制覇。 ○8月19日全国中学生重量挙げ選手権大会で小山の中学生が4階級制覇。 ○10月栃木県庁小山庁舎が開設、小山保健所など5つの事務所が入所。 ○12月1日～3日「中国・本溪画家十人展」が文化センターで開催される。 ○12月17日小山駅新幹線停車本数増便連絡協議会設立。
1993年	平成5年	<ul style="list-style-type: none"> ○3月小山市地域情報化構想を策定。 ○3月11日国道50号小山高架線2車線併用開始。 ○4月市庁舎完全週休二日制実施。 ○4月1日小山市みどりのまちづくり条例制定。 ○4月5日絹保育所が改築され開所。 ○4月22日中央図書館が開館。 ○6月12・13日県民の日記念行事「ハートフルおやま'93」開催。 ○7月16日県立県南体育館開館、ふれあい橋オープン。 ○8月平成5年度全国高等学校総合体育大会、栃木県開催。小山市においてバスケットボール、ウェイトリフティング競技が実施される。 ○9月3日県南公設地方卸売市場開場。
1994年	平成6年	<ul style="list-style-type: none"> ○1月在宅重度心身障害者デイケア事業スタート。 ○4月1日小山市都市景観条例施行される。 ○4月1～3日小山バルーンフェスタ開催。 ○6月9日駅西再開発ビル「ロブレ」オープン。 ○7月28日第76回全国高等学校野球選手権栃木大会で小山高等学校が足利高等学校を8-3で破り、18年ぶり3度目の甲子園出場となる。 ○10月24日おやま百景ガイドブック初版発行。
1995年	平成7年	<ul style="list-style-type: none"> ○1月17日発生した阪神大震災の救助活動のため1月23～25日小山消防署員が神戸市へ出動。 ○2月10日城南高校線立体交差が開通。 ○4月5日～30日阪神大震災救助活動へ県を代表して、市職員1名が

		神戸市長田区へ25日間派遣され救助活動を行う。
1996年	平成8年	<ul style="list-style-type: none"> ○6月25日市文化センターでNHK「のど自慢」の生中継が行われる。 ○7月26日NHK夏期巡回ラジオ体操が小山総合運動公園で開催される。 ○8月10日国道50号線の小山市内が全線4車線化となる。 ○10月1日墓園やすらぎの森開園。 ○10月16日小山市の人口15万人となる（人口推計）15万人目は塚崎の直井克敏さんの長男祐太ちゃん、市からベビーカーを贈る。 ○10月第10回国民文化祭を栃木県で開催。 小山市において10月29日「民謡・民舞の祭典」・11月15日「道と文化のシンポジウム」が開催される。 ○11月8日寺野東遺跡が国指定史跡となる。以後、史跡整備事業に着手。 ○12月1日JR近距離新幹線「なすの」誕生。 ○12月1日市庁舎で分煙化を実施。 ○3月第4次小山市振興計画基本構想（H8～17年）及び前期基本計画（H8～12年）を策定。 ○7月8日船田章氏市長に3選。 ○7月15日絹地区を突風（ダウンバースト）が襲い、多くの被害が発生。 ○8月アトランタオリンピックに本市出身の神山雄一郎選手（自転車競技）と堀越典昭選手（ウェイトリフティング）が出場。 ○8月市内の中学生11人が被爆地広島市を訪問し、平和記念式典に参列。 ○10月1日小山東出張所開設。 ○10月1日ごみの7分別収集がスタート。 ○10月1日中央清掃センター粗大ごみ処理施設竣工、操業開始。 ○10月4日松原大橋開通。 ○10月27日城東公園のまちかど広場の完成記念イベント開催。 ○11月13日「災害時における小山市と葛飾区との総合応援に関する協定」が締結され葛飾区との交流が始まる。 ○11月23日県南公設地方卸売市場で市場まつり。 ○1月県内で初めて個人情報（レセプト）の開示を行う。 ○3月8日城南第二土地区画整理事業地域の本換地に伴い、新町名東城南・西城南が誕生。 ○4月1日市環境基本条例が施行される。 ○4月6日日曜日の窓口サービス業務開設。 ○5月18日羽川西小学校が学校環境緑化コンクールで文部大臣賞を受賞。 ○8月1日小山総合公園にデイキャンプ場バーベキュー広場がオープン。 ○12月1日（財）小山市体育協会設立。
1997年	平成9年	<ul style="list-style-type: none"> ○3月8日城南第二土地区画整理事業地域の本換地に伴い、新町名東城南・西城南が誕生。 ○4月1日市環境基本条例が施行される。 ○4月6日日曜日の窓口サービス業務開設。 ○5月18日羽川西小学校が学校環境緑化コンクールで文部大臣賞を受賞。 ○8月1日小山総合公園にデイキャンプ場バーベキュー広場がオープン。 ○12月1日（財）小山市体育協会設立。
1998年	平成10年	<ul style="list-style-type: none"> ○3月国土利用計画小山市計画を改定。（H10～17年） ○4月1日やはた保育所開所。 ○4月1日小山市自転車等の放置防止等に関する条例施行。

1999年	平成11年	○4月25日国史跡乙女不動原瓦窯跡の整備事業が終了し、「乙女かわらの里公園」開園。
		○7月6日栃木・小山合併協議会の初会合が小山グランドホテルで開かれる。
2000年	平成12年	○8月19日大相撲小山場所が県南体育館で行われる。
		○8月30日大雨により大雨災害対策本部が設置され、下生井地区等に避難勧告がだされ374人が市内小中学校に避難。
		○10月17日第1回小山市総合防災訓練を市役所第2駐車場及び小山第一小学校校庭で実施。
		○10月22日市環境課に電気自動車が納入される。
		○1月13日バンコク・アジア大会自転車男子スプリント競争で本市出身の神山雄一郎選手が金メダルを獲得。
		○2月市内中学生による模擬議会が市役所議場で行われる。
		○3月20日小山地域振興券が市内各所において交付される。
		○3月31日小山市ホームページ開設。
		○4月1日小山市ふれあい健康センターオープン。
		○4月17日使用済こいのぼりを集め小山総合公園において100匹のこいのぼりを遊泳させる。
		○6月1日市民から直接市長へメッセージを送る「市長への手紙」を開設。
		○10月1日市内高校生の取材編集による広報おやま「ステップバイステップ」が発行される。
		○8月5日～7日広島平和記念式典小山市中学生派遣団同行収録。 (後日とちぎテレビで放映)
		○9月20日郵政省から平成11年度上期のテレトピア構想モデル地域の指定を受ける。
		○9月21日～23日市長が間々田中・小山第三中・豊田中を訪問し、授業を行う。(後日とちぎテレビで放映)
		○11月緑の基本計画を策定。
		○3月老人保健福祉計画(第2次計画)を策定。
		○4月1日テレビ小山放送開局。
		○5月28日石ノ上河川広場で初めての水防訓練実施。
		○7月1日国指定史跡寺野東遺跡の保存整備事業がはじまる。
		○7月16日市長選挙で大久保寿夫氏当選。
		○8月15日、9月24日の集中豪雨で若木町3丁目、喜沢を中心に市内でそれぞれ91件、73件の床下浸水。
		○9月シドニーオリンピックのケイリンに本市出身の神山雄一郎選手が出場。
		○10月1日から市民課窓口業務午後7時まで延長。
		○10月12日小山総合公園内に県立温水プール館オープン。
		○10月14日都市整備公団施行による区画整理事業完了に伴い新町名美しが丘誕生。

2001 年	平成 13 年	○11月より中央図書館・博物館の祝日開館実施。
		○12月よりテレビ小山が、インターネット接続を開始。
2002 年	平成 14 年	○12月 31 日新世紀カウントダウン IN OYAMA を開催。
		○4月 1 日中央公民館の休日窓口業務開始。
2003 年	平成 15 年	○4月市政モニター制度開始。
		○5月（財）小山市体育協会ホームページ開設。
		○5月「田んぼの学校」が中小学校で開校。
		○6月市民ポスト設置。
		○6月 1 日小山市民賞第 1 号として、川上知子さん（重量挙げ）を表彰。
		○6月小山市男女共同参画都市を宣言。
		○6月 30 日城北区画整理事業完了に伴い、城北・駅東通り 3 丁目と町名が変更される。
		○8月 7 日小山氏城跡中久喜城が国指定史跡となる。鷲城跡、祇園城跡の指定範囲広がる。
		○9月 2 日栃木県小山市総合防災訓練が石ノ上河川広場で実施される。
		○10月小山市中学生中国派遣団が中国本溪市を訪問。
		○12月 3 日小山駅始発新幹線の運行開始。
		○12月 15 日桜の里親記念植樹祭を実施。
		○1月汚泥再生処理センターが竣工。
		○2月顔写真付の小山市民証の発行を開始。
		○3月 19 日小山氏城跡、鷲城跡、祇園城跡の指定範囲広がる。
		○3月 31 日地域女性史「小山に生きた女性たち」を発刊。
		○4月 1 日生涯学習センターで市民課窓口業務を開始。
		○4月男女共同参画センター・勤労者福祉センター・ボランティア支援センターが開設。
		○4月 4 日生涯学習センターに「まちなか情報」検索パソコン 3 台を設置。
		○4月地域学習室を「子ども情報科学館」として土・日開放。
		○6月 1 日 8 名の女性消防団員が誕生。
		○6月 17 日地元産小山和牛の学校給食への導入。
		○6月台風 6 号により小宅橋が流失し、押切、中里、島田、塩沢地区等が冠水。
		○7月学校週 5 日制に伴い、小中学校の図書室・各公民館の開放、体育施設の無料化を実施。
		○8月小山西高校が甲子園初出場・初勝利。
		○9月 20 日摩利支天塚古墳の指定範囲広がる。
		○10月 1 日市民病院でオーダリングシステム導入・2 次救急医療体制の整備。
		○10月オーストラリア・ケアンズ市を訪問し教育、文化交流に合意。
		○10月 19 日女性模擬議会を開催。
		○11月 JR 思川駅旅客上屋が完成。
		○1月 6 日小山市地域イントラネットが運用開始。

2004 年

平成 16 年

- 1月 20 日コミュニティ道路愛護会（須賀神社参道）が道路の里親第 1 号に認定。
- 1月 24 日小山の地酒統一ブランド名が「小山評定」に決定。
- 3月 親しむ通り愛称決定。
- 3月 17 日国道 50 号の市内全線 4 車線化が完了。
- 3月 20 日寒川小地内に市独自の地下水観測所を設置。
- 4月 市立小中学校・保育所で敷地内全面禁煙を実施。
- 4月 学校給食に地元産の米を使用した米パンを導入。
- 4月 休日納税窓口相談を開設。
- 4月 5 日民設民営化第 1 号「こぐま保育園」が開園。
- 5月 オールおやま食材利用の日を設定。
- 5月 17 日第 1 回小山ブランド祭りを開催。
市のマスコットキャラクターの愛称がピンキーとセグピーに決定。
- 7月 1 日小山聖苑の通夜時間を延長。
- 8月 26 日～9月 2 日第 1 回中学生オーストラリア派遣団がケアンズ市を訪問。
- 9月 18 日中心市街地活性化事業で、白鷗大学生運営のジャズ喫茶「OMO I GAWA CAFE」がオープン。
- 10月 3 日祇園城跡（旧思水荘跡）の愛称が小山御殿広場に決定。
- 10月 12 日中小「NHK 全国学校音楽コンクール」で銀賞を受賞。
- 10月 19 日中心市街地活性化事業で「まちかど美術館」がオープン。
- 10月 23 日間々田公民館が優良公民館として文部科学大臣表彰を受賞。
- 11月 24 日思川を遡上してきた鮭で調理した鮭鍋を楽しむ「第 1 回思川サケまつり」を開催。
- 12月 18 日小山駅とロブレが連絡橋でつながる。
- 12月 26 日台風 6 号で流失した小宅橋が開通。
- 1月 1 日「小山市生活安全に関する条例」が施行。
- 1月 25 日市制 50 周年記念オープン事業、市民能「小山安犬」を 600 年ぶりに復活させ公演。
- 3月 1 日駅西循環バスの実験運行を開始。
- 3月 3 日大字羽川の大沼が、大沼親水公園として整備される。
- 3月 31 日「小山市長期ビジョン・新おやま 21 ビジョン」（平成 16 ～32 年）を策定。
- 4月 1 日「小山市環境美化条例」及び「小山市人権尊重の社会づくり条例」が施行。
- 4月 24 日小山東部第一土地区画整理事業地内に「しいの実公園」・「犬塚南公園」が開園。
- 5月 15 日市制 50 周年記念式典・船田章前市長名誉市民顕彰式を開催。
- 5月 15 日おやま百景ガイドブック改訂版発行。
- 5月 15 日日本格はとむぎ焼酎「小山物語」を発売。

2005 年

平成 17 年

- 5月 22・23 日市民オペラ「小山物語」を公演。
- 6月 パブリックコメント制度を導入。
- 6月 4日 し尿処理施設「小山広域クリーンセンター」が完成。
リサイクル堆肥「すくすく君」を生産。
- 6月 12・13 日 2年間をかけてグラウンドワークで整備を進めた
「ほたるの館」が小山総合公園に完成、「第1回ほたるの館祭り」
を開催。
- 7月 1日 「小山市男女共同参画推進条例」が施行。
- 7月 25日 大久保市長再選される。
- 9月 5日 小山を PR する「小山評定ふるさと大使」を創設。
- 9月 18・19 日市制 50周年記念事業「五街道どまん中サミット間々
田宿大会」が開催され、袋井市・楢川村・大月市・大田原市・黒磯
市・小山市が参加。
- 10月 1~11 日市制 50周年記念企画美術展「山中仁太郎・飯田張 2
人展」を、市生涯学習センターにおいて開催。
- 10月 17 日「第1回ハンドベルフェスタ in OYAMA」を市文化セン
ターで開催。
- 10月 25 日プレミアム付小山市共通商品券を発売。
- 10月 30 日国指定史跡「寺野東遺跡」の史跡整備が完了し「おやま
縄文まつりの広場」として開園。「第1回寺野東遺跡縄文まつり」
を開催。
- 11月 6 日市制 50周年記念事業「第14回小山市文化振興大会」に
において、舞踊劇「花は散り水は流れる」を上演。
- 11月 17 日小山駅東口にエスカレーターを設置。
- 2月 2 日小山御殿広場案内解説板及び標柱を設置。
- 3月 1 日県内初「遠隔相談窓口システム」の運用開始。
- 3月 2 日小山氏城跡、鷺城跡、祇園城跡の指定範囲広がる。
- 3月 15 日小山城南中校舎増築工事が完成。
- 3月 25 日喜沢第二雨水幹線新設工事が完成。
- 3月 31 日第4次小山市行政改革大綱を策定。
- 4月 1 日小学校英語教育構造改革特区事業の認定を受け、市内 9 小
学校を研究推進校として、「英語科」の授業を実施。
- 4月 1 日「小山市地区まちづくり条例」および「小山市開発行為の
基準に関する条例」が施行。
- 4月 23 日城南公園がオープン。
- 5月 16 日市民課自動受付システムの運用開始。
- 6月 16 日中央町 2 丁目地内に子育て支援センターを開所。
- 7月 1 日市内 5 路線で地域コミュニティバスの実験運行を開始。
- 7月 8 日農業集落排水事業延島地区処理施設が供用開始。
- 7月 16 日小山駅で「小山駅開業 120 周年記念イベント」が開催。
- 7月 20 日美田中校舎改築工事が完成。
- 8月 10 日国土交通省が道の駅「思川」の登録を承認。

2006 年

平成 18 年

- 8 月 19 日シニア元気回復トレーニングセンターが開所。
- 10 月 1 日国勢調査で人口が 160,142 人となり、県内第 2 位の都市となる。
- 10 月 3 日「おやまブランドピンキーちゃん人形」販売開始。
- 10 月 6 日中央図書館内にビジネス支援コーナーを開設。
- 11 月 1 日小児初期救急医療を開始。
- 11 月 1 日県道小山結城線延伸部が開通。
- 11 月 5 日第 2 回ハンドベルフェスタ in OYAMA を市文化センターで開催。
- 11 月 27 日中国紹興市と「友好交流関係を発展させる覚書」を締結。
- 12 月 17 日とちぎ元気フォーラム in 小山が県南体育館で開催される。
- 1 月 7 日土・日曜日も業務を行う城南出張所が開所。
- 1 月 13 日 JR 宇都宮線の横倉踏切拡幅改修工事（三峯地内）が完成。
- 1 月 13 日史跡寺野東遺跡資料館が入館者 1 万人を達成。
- 1 月 26 日小山氏城跡、祇園城跡の指定範囲が広がる。
- 2 月 2 日羽川の大沼トイレを開設。
- 2 月 4 日間々田第二学童保育館が開所。
- 3 月 4 日、5 日古川龍生展において「小山の日」を開催。
- 3 月 5 日移動式天体望遠鏡搭載車「ほっしー★OYAMA」初披露。
- 3 月 31 日 JR 間々田駅東西口エレベーターの開通と東口の公衆トイレが竣工。
- 3 月 31 日小山市総合基本構想・基本計画（H18～22 年）を策定。
- 4 月 1 日市民課窓口を土曜・日曜日も開設。
- 4 月 1 日英語教育推進特区事業を市内全小学校で実施。
- 4 月 1 日「小山市文化芸術振興条例」が施行。
- 4 月 1 日市内 30 施設において指定管理者制度を導入。
- 4 月 1 日保健・福祉センターに保健福祉部の窓口を一元化し、「福祉に関する総合案内」を新設。
- 4 月 22 日下生井桜づみ整備事業が完成。
- 4 月 15 日平成公園がオープン。
- 4 月 29 日道の駅「思川」がグランドオープン。
- 5 月 15 日豪州ケアンズ市において姉妹都市盟約書に調印。
- 7 月 1 日城東・中久喜循環バスの実験運行を開始。
- 7 月 1 日絹ふれあいの郷を開所。
- 7 月 13 日紹興市教育友好訪問団が来日。
- 8 月 21 日酷暑対策として全小・中学校に扇風機を設置。
- 9 月 20 日紹興市に高校生 5 人を初めて派遣。
- 9 月 23 日第 1 回おやま開運まつりを開催。
- 10 月 1 日資源系廃棄物の無断回収禁止条例の罰則規定を施行。
- 10 月 20 日自治会連合会設立 40 周年記念式典挙行。
- 10 月 22 日第 3 回ハンドベルフェスタ in OYAMA を市文化センターで開催。

2007 年

平成 19 年

- 10月29日小山城南中で創立20周年記念式典挙行。
- 10月29日小山NHK大河ドラマ「功名が辻」で、史実「小山評定」が大きく取り上げられ、全国に放映される。
- 10月30日本経済新聞社の調査で、本市の行政サービスが、全国764市区で第31位に評価される。
- 11月11日羽川西小で創立30周年記念式典挙行。
- 1月4日市民課、桑出張所、博物館に証明書自動交付機システムを導入。
- 3月12日羽川地区整備事業完成。（市道1513号線改良工事）
- 3月23日小山市と白鷗大学が、相互の密接な連携と協力により、地域社会の発展を目指す協定書に調印。
- 3月24日まちの駅をオープン。
- 3月25日悠遊公園・どんぐり山公園がオープン。
- 3月28日JR水戸線雨ヶ谷踏切で、歩道新設と踏切改良が完成。
- 3月31日文化センターリニューアル工事が完成。
- 3月31日市内全域に、光ケーブルによるケーブルテレビ放送施設を整備。
- 4月1日市内9施設において、指定管理者制度を導入。
- 4月1日民間建築物露出吹付けアスベスト対策の助成スタート。
- 4月1日農地・水・環境保全向上対策がスタート。
- 4月1日教育委員会事務局を中央市民会館に移転。
- 4月6日美田中新屋内運動場が完成。
- 4月11日文書館をオープン。
- 5月13日ひまわり広場がオープン。
- 5月26日青蓮寺公園・西坪公園がオープン。
- 6月1日安全安心等情報をメール配信スタート。
- 6月16日穂積小で創立90周年・新校旗樹立記念式典挙行。
- 6月18日大谷北小新プール完成式典挙行。
- 7月10日農業集落排水事業福良地区処理施設が供用開始。
- 8月1日県内14市初となる「公開用Web GISシステム」運用開始。
- 8月25日小山東出張所内に子育て広場「小山ひがし」をオープン。
- 9月15日「カスリーンメモリアル60inおやま」を道の駅「思川」で開催。
- 10月7日寒河尼地頭就任820年記念講演会を文化センターで開催。
- 10月17日須賀神社前歩道橋（通称太鼓橋）が老朽化のため撤去。
- 10月21日第4回ハンドベルフェスタ in OYAMAを市文化センターで開催。
- 12月1日「わたしの市民便利帳」を創刊。
- 12月2日NHK「のど自慢」が、平成7年6月以来12年ぶりにリニューアル工事が完了した文化センターで開催。
- 12月15日ロッテ成瀬投手・ヤクルト飯原選手歓迎パレードを小山駅西口から市役所間で開催。沿道には、約1万人のファンが熱い声

2008年

平成20年

援を送る。

- 1月9日(仮称)間々田市民交流センター建設工事起工式が行われる。
- 2月9日第2回おやま開運まつりの「歴史へのいざない」で、市民劇「小山評定」を上演。
- 3月1日地域コミュニティバス、駅西口始発の桑絹北路線・桑絹南路線と駅東口発の大谷東路線・大谷西路線が運行し、小山市バスネットワークの整備完了。
- 3月18日間々田駅東口駅前広場が完成。
- 3月22日新小山駅東口広場への一般車両の乗り入れを開始。
- 4月1日市内9施設において、指定管理者制度を導入。
- 4月6日小山地区夜間休日急患センター診療開始。
- 4月7日旭小校舎増築工事完成式典を挙行。
- 4月11日美田中学校改築事業完了式典を挙行。
- 4月21日小山城東小に外国人児童生徒適応指導教室を開室。
- 5月25日小山南工業団地竣工式挙行。全15区画(14社が進出)と管理棟の造成工事が完了。
- 6月1日環境都市宣言記念式典を挙行。
- 6月23日「小山市民元気あっぷ体操」お披露目会を開催。
- 7月7日環境都市宣言記念「自然エネルギー観察塔」除幕式を挙行。
- 7月27日大久保市長3選。
- 8月1日インキュベーション・オフィス「ビジネスプラザおやま駅前」を開設。
- 8月7日利根川治水同盟治水大会を開催。
- 8月10日図書館開館30周年記念式典を挙行。
- 10月1日小山評定ふるさと応援基金条例施行。
- 10月22日小山市、野木町、小山農協による菜の花プロジェクト協定書締結。
- 11月30日おもいがわ映画祭を開催。
- 12月2日緊急経済対策本部を設置。
- 1月25日間々田東小第二学童保育館開所。
- 1月28日新型インフルエンザ対策本部を設置。
- 3月14日学校南公園がオープン。
- 3月22日乙女下町公園・ひばり公園がオープン。
- 3月25日大日橋架け替え完了。
- 3月26日間々田駅西口広場が完成、東口広場に「南飯田神田囃子の像」を設置。
- 3月28日大正寺公園・大割公園がオープン。
- 3月29日市道4号線・271号線開通。
- 4月1日こども医療費助成を中学3年生まで拡大。妊婦健診助成回数を7回から14回に倍増。
- 4月4日間々田市民交流センター「しらさぎ館」を開館。
- 4月4日車屋美術館を開館。

2009年

平成21年

		○4月12日絹ふれあい広場完成式典挙行。
		○4月12日第1回おやま思川ざくらマラソン大会を開催。
		○4月12日どんぐり公園がオープン。
		○4月13日外国人児童生徒適応指導教室専用棟完成式典挙行。
		○4月19日ひだまりの丘公園・千手観音公園がオープン。
		○4月23日定額給付金給付開始。
		○5月25日中小学校プール完成式典挙行。
		○7月31日思川へのアプローチ第1期工事の完成。
		○9月1日市内公共施設33か所に「赤ちゃんの駅」設置。
		○10月10・11日舟運社会実験「思川舟運の歴史を訪ねて」を実施。
		○10月13日中学生模擬議会を開催。
		○10月22日中国紹興市と「友好交流関係都市に関する協定書」に調印。
		○11月14日市制55周年記念式典を挙行。
2010年	平成22年	○1月30日思川桜の里親千本記念植樹祭を開催。
		○3月11日羽川大沼、「国のために池百選」に選定。
		○3月15日JR宇都宮線の第二境街道踏切が完成。
		○3月27日あおぞら公園がオープン。
		○3月29日結城市と「災害時における相互応援に関する協定」を締結。
		○4月1日コンビニエンスストアでの収納代行業務を開始。
		○4月1日ヒブルクチン費用の一部助成を開始。
		○4月1日市観光協会が一般社団法人として事業をスタート。
		○4月1日小山市民農園がオープン。
		○6月18日小山政光公と寒川尼のモニュメント完成。
		○7月21日エコファミリー認定事業開始。
		○7月27日「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」を設立。
		○8月2日外部委員による事務事業第三者評価を延べ5日間の日程で実施。
		○9月30日渡良瀬遊水地がラムサール条約潜在候補地に選定。
		○10月1日小山コミュニティバス「桑絹南北路線、大谷東西路線」のデマンドバス化。
		○10月12日小山駅中央自由通路整備工事着工。
		○10月30日第1回グリーンツーリズム（農村宿泊体験ツアー）の実施。
		○11月16日本場結城紬がユネスコ無形文化遺産に登録。
		○12月16日サントリーフーズ、関東フーズサービスと災害時救援物資供給協定締結。
		○12月18日ニューピンキー誕生、お披露目。
		○12月18日小山評定410年記念シンポジウム開催。
		○12月27日新市民病院建設基本構想策定。
2011年	平成23年	○2月1日本場結城紬着用推進事業（新成人購入補助）実施。
		○2月26日桜の里親10周年記念植樹祭の開催。
		○3月9日間々田のジャガマイタが国選択無形民俗文化財に選定。
		○3月11日東北地方太平洋沖地震発生、災害対策本部設置。

- 3月16日県南体育馆に避難所設置。
- 3月23日「小山を100倍楽しめる本」刊行。
- 3月25日マンガでわかる「小山ブランド」電子コミック版掲載。
- 4月1日第6次小山市総合計画スタート。
- 4月1日小山東工業団地分譲開始。

歴代二役(三役)

平成23年4月1日現在
秘書広報課調

市長

代	氏名	在任期間
市長職務執行者	高崎秀雄	昭和29年 3月31日 ~ 昭和29年 5月17日
初代~4代	山中泰輔	昭和29年 5月18日 ~ 昭和45年 5月17日
5代~8代	栗田政夫	昭和45年 5月18日 ~ 昭和59年 8月25日
9代	小林武夫	昭和59年 9月30日 ~ 昭和63年 6月11日
10代~12代	船田章	昭和63年 7月31日 ~ 平成12年 7月30日
13代~	大久保寿夫	平成12年 7月31日 ~ 現在

副市長

代	氏名	在任期間
初代	小久保吉雄	平成19年 4月1日 ~ 平成23年 3月31日
2代~	宮嶋誠	平成23年 4月1日 ~ 現在

助役

代	氏名	在任期間
初代	山中泰輔	昭和29年 3月31日 ~ 昭和29年 5月17日
2代~3代	渡辺留吉	昭和30年 3月22日 ~ 昭和38年 3月21日
4代	中田邦太郎	昭和38年 5月11日 ~ 昭和40年 3月31日
4代	栗田政夫	昭和38年 5月11日 ~ 昭和40年 3月31日
5代	鈴木長治	昭和42年 7月5日 ~ 昭和46年 7月4日
6代~9代	小川仁	昭和47年 4月1日 ~ 昭和63年 3月31日
8代~9代	長瀬親次郎	昭和56年10月1日 ~ 昭和59年 8月25日
10代	荒井龍	昭和63年12月23日 ~ 平成4年12月22日
11代~12代	稻葉芳雄	平成5年 3月1日 ~ 平成12年 7月30日
13代~14代	松本久男	平成13年10月1日 ~ 平成19年 3月31日

収入役

代	氏名	在任期間
初代~4代	古川好一	昭和30年 3月8日 ~ 昭和46年 3月7日
5代~6代	福田督次	昭和46年 8月20日 ~ 昭和54年 8月19日
7代	高岩茂	昭和54年 8月20日 ~ 昭和58年 8月19日
8代~10代	島村侃志	昭和62年 4月1日 ~ 平成11年 3月31日
11代	堀木彰	平成11年 7月1日 ~ 平成12年 7月30日
12代~13代	宮田登志雄	平成13年10月1日 ~ 平成19年 3月31日

歴代正副議長

平成 23 年 7 月 1 日現在
議 事 課 調

議 長

代	氏名	在任期間
初代～2代	石崎 亀三郎	昭和 29 年 4 月 1 日～昭和 34 年 3 月 30 日
3 代	坪野谷 久平	昭和 34 年 4 月 13 日～昭和 36 年 4 月 15 日
4 代	金子 茂	昭和 36 年 4 月 15 日～昭和 38 年 4 月 29 日
5代～6代	阿久津 治夫	昭和 38 年 5 月 10 日～昭和 42 年 4 月 29 日
7 代	松本 清一	昭和 42 年 5 月 12 日～昭和 44 年 6 月 20 日
8代～9代	金子 茂	昭和 44 年 6 月 20 日～昭和 46 年 4 月 29 日
10 代	高島 一郎	昭和 46 年 5 月 13 日～昭和 48 年 6 月 18 日
11代～12代	長瀬 親次郎	昭和 48 年 6 月 18 日～昭和 50 年 12 月 22 日
13 代	植野 保正	昭和 50 年 12 月 22 日～昭和 53 年 9 月 29 日
14 代	岸 好	昭和 53 年 9 月 29 日～昭和 54 年 4 月 29 日
15 代	長瀬 親次郎	昭和 54 年 5 月 15 日～昭和 56 年 6 月 25 日
16 代	植野 保正	昭和 56 年 6 月 25 日～昭和 58 年 4 月 29 日
17 代	野村 春夫	昭和 58 年 5 月 17 日～昭和 60 年 3 月 13 日
18代～19代	橋本 金次郎	昭和 60 年 3 月 13 日～昭和 63 年 3 月 14 日
20 代	峰崎 茂	昭和 63 年 3 月 30 日～平成 元年 9 月 11 日
21 代	横塚 進	平成 元年 9 月 11 日～平成 3 年 4 月 29 日
22 代	左巻 秀三	平成 3 年 5 月 17 日～平成 5 年 6 月 25 日
23 代	渡辺 直治	平成 5 年 6 月 25 日～平成 7 年 4 月 29 日
24 代	森田 総一	平成 7 年 5 月 17 日～平成 9 年 6 月 23 日
25 代	木戸 健志	平成 9 年 6 月 23 日～平成 11 年 4 月 29 日
26 代	本橋 徳太郎	平成 11 年 5 月 18 日～平成 13 年 6 月 27 日
27 代	椎名 寛	平成 13 年 6 月 27 日～平成 13 年 12 月 21 日
28 代	大山 典男	平成 13 年 12 月 21 日～平成 15 年 4 月 29 日
29 代	手塚 茂利	平成 15 年 5 月 20 日～平成 17 年 6 月 22 日
30 代	山口 忠保	平成 17 年 6 月 22 日～平成 19 年 4 月 29 日
31 代	松島 不三	平成 19 年 5 月 16 日～平成 21 年 6 月 25 日
32 代	石渡 丈夫	平成 21 年 6 月 25 日～平成 23 年 4 月 29 日
33 代	野村 広元	平成 23 年 5 月 17 日～現在

副議長

代	氏名	在任期間
初代	山中徹雄	昭和29年 4月 1日 ~ 昭和30年 3月30日
2代	中村斌	昭和30年 4月 11日 ~ 昭和34年 3月30日
3代~4代	阿久津治夫	昭和34年 4月 13日 ~ 昭和38年 4月29日
5代	速水進	昭和38年 5月 10日 ~ 昭和40年 6月16日
6代	松本清一	昭和40年 6月 16日 ~ 昭和42年 4月29日
7代	塚原彪	昭和42年 5月 12日 ~ 昭和44年 6月20日
8代	高島一郎	昭和44年 6月 20日 ~ 昭和45年 6月19日
9代	岡本司三郎	昭和45年 6月 19日 ~ 昭和46年 4月29日
10代	岸好	昭和46年 5月 13日 ~ 昭和48年 6月18日
11代	小林武夫	昭和48年 6月 18日 ~ 昭和50年 3月31日
12代	植野保正	昭和50年 5月 14日 ~ 昭和50年 12月22日
13代	大出勝久	昭和50年 12月 22日 ~ 昭和53年 9月29日
14代	橋木金次郎	昭和53年 9月 29日 ~ 昭和54年 4月29日
15代	鶴見勝二	昭和54年 5月 15日 ~ 昭和56年 6月25日
16代	峰崎茂	昭和56年 6月 25日 ~ 昭和58年 4月29日
17代	関口育男	昭和58年 5月 17日 ~ 昭和60年 3月13日
18代	渡辺直治	昭和60年 3月 13日 ~ 昭和62年 4月29日
19代	峰崎茂	昭和62年 5月 14日 ~ 昭和63年 3月30日
20代	森田総一	昭和63年 3月 30日 ~ 平成元年 9月11日
21代	西村弘	平成元年 9月 11日 ~ 平成3年 4月29日
22代	糸井助三郎	平成3年 5月 17日 ~ 平成5年 6月25日
23代	伊沢範夫	平成5年 6月 25日 ~ 平成7年 4月29日
24代	松島儀	平成7年 5月 17日 ~ 平成9年 6月23日
25代	木橋徳太郎	平成9年 6月 23日 ~ 平成11年 4月29日
26代	大山典男	平成11年 5月 18日 ~ 平成13年 6月27日
27代	星野日出男	平成13年 6月 27日 ~ 平成15年 4月29日
28代	石島政己	平成15年 5月 20日 ~ 平成17年 6月22日
29代	石渡丈夫	平成17年 6月 22日 ~ 平成19年 4月29日
30代	野村広元	平成19年 5月 16日 ~ 平成21年 6月25日
31代	塚原一男	平成21年 6月 25日 ~ 平成23年 4月29日
32代	塚原俊夫	平成23年 5月 17日 ~ 現在

平成 23 年 4 月 1 日現在
教育委員会総務課 調

市制施行以降の教育委員

氏名	在任期間
塚原 隆二	昭 29. 3. 31 ~ 昭 30. 3. 30
中村 炎	昭 29. 3. 31 ~ 昭 30. 3. 30
寺岡 与七	昭 29. 3. 31 ~ 昭 30. 3. 30
小池 知明	昭 29. 3. 31 ~ 昭 31. 9. 30
松浦 盛三郎	昭 29. 3. 31 ~ 昭 32. 9. 30
鈴木 長治	昭 29. 3. 31 ~ 昭 42. 7. 4
野住 生	昭 30. 3. 31 ~ 昭 33. 9. 30
小池 安夫	昭 30. 3. 31 ~ 昭 38. 9. 30
宇井 浩道	昭 30. 3. 31 ~ 昭 51. 9. 30
永藤 義雄	昭 32. 10. 1 ~ 昭 40. 9. 30
山中 黙	昭 33. 10. 1 ~ 昭 47. 6. 20
渡辺 佐一	昭 38. 10. 1 ~ 昭 53. 9. 30
山口 淳一	昭 40. 10. 1 ~ 昭 47. 10. 29
坂本 重造	昭 42. 7. 5 ~ 昭 46. 6. 30
神川 操	昭 46. 9. 1 ~ 昭 50. 12. 23
杉田 芳吉	昭 47. 7. 1 ~ 昭 57. 9. 30
宮田 清	昭 48. 3. 1 ~ 昭 56. 9. 30

氏名	在任期間
古谷 一夫	昭 51. 10. 1 ~ 平 2. 2. 15
慶野 恒徳	昭 51. 4. 5 ~ 平 4. 9. 30
東條 挙明	昭 53. 10. 1 ~ 平 3. 9. 30
菅沼 浩	昭 56. 10. 1 ~ 平 9. 9. 30
田波 子平	昭 57. 10. 1 ~ 平 10. 9. 30
小山 正義	平 2. 6. 15 ~ 平 6. 4. 20
近藤 稔	平 4. 10. 1 ~ 平 12. 9. 30
石倉 洋子	平 3. 10. 1 ~ 平 14. 2. 3
菅沼 基訓	平 6. 7. 1 ~ 平 14. 3. 31
清水 悟	平 14. 4. 1 ~ 平 23. 3. 31
福井 崇昌	平 9. 10. 1 ~ 現在
神山 宜久	平 10. 10. 1 ~ 現在
福地 尚美	平 13. 4. 1 ~ 現在
新井 泉	平 14. 4. 1 ~ 現在
慶野 裕子	平 20. 4. 1 ~ 現在
酒井 一行	平 23. 4. 1 ~ 現在

歴代教育委員長

氏名	在任期間
小池 知明	昭 29. 3. 31 ~ 昭 31. 9. 30
松浦 盛三郎	昭 31. 10. 1 ~ 昭 32. 9. 30
野住 生	昭 32. 10. 1 ~ 昭 33. 9. 30
小池 安夫	昭 33. 10. 1 ~ 昭 34. 9. 30 昭 37. 10. 1 ~ 昭 38. 9. 30
宇井 浩道	昭 34. 10. 1 ~ 昭 35. 9. 30 昭 38. 10. 1 ~ 昭 51. 9. 30
永藤 義雄	昭 35. 10. 1 ~ 昭 36. 9. 30
山中 黙	昭 36. 10. 1 ~ 昭 37. 9. 30

氏名	在任期間
渡辺 佐一	昭 51. 10. 1 ~ 昭 53. 9. 30
古谷 一夫	昭 53. 10. 1 ~ 平 2. 2. 15
菅沼 浩	平 2. 6. 25 ~ 平 9. 9. 30
田波 子平	平 9. 10. 1 ~ 平 10. 9. 30
石倉 洋子	平 10. 10. 1 ~ 平 14. 2. 3
福井 崇昌	平 14. 3. 8 ~ 現在

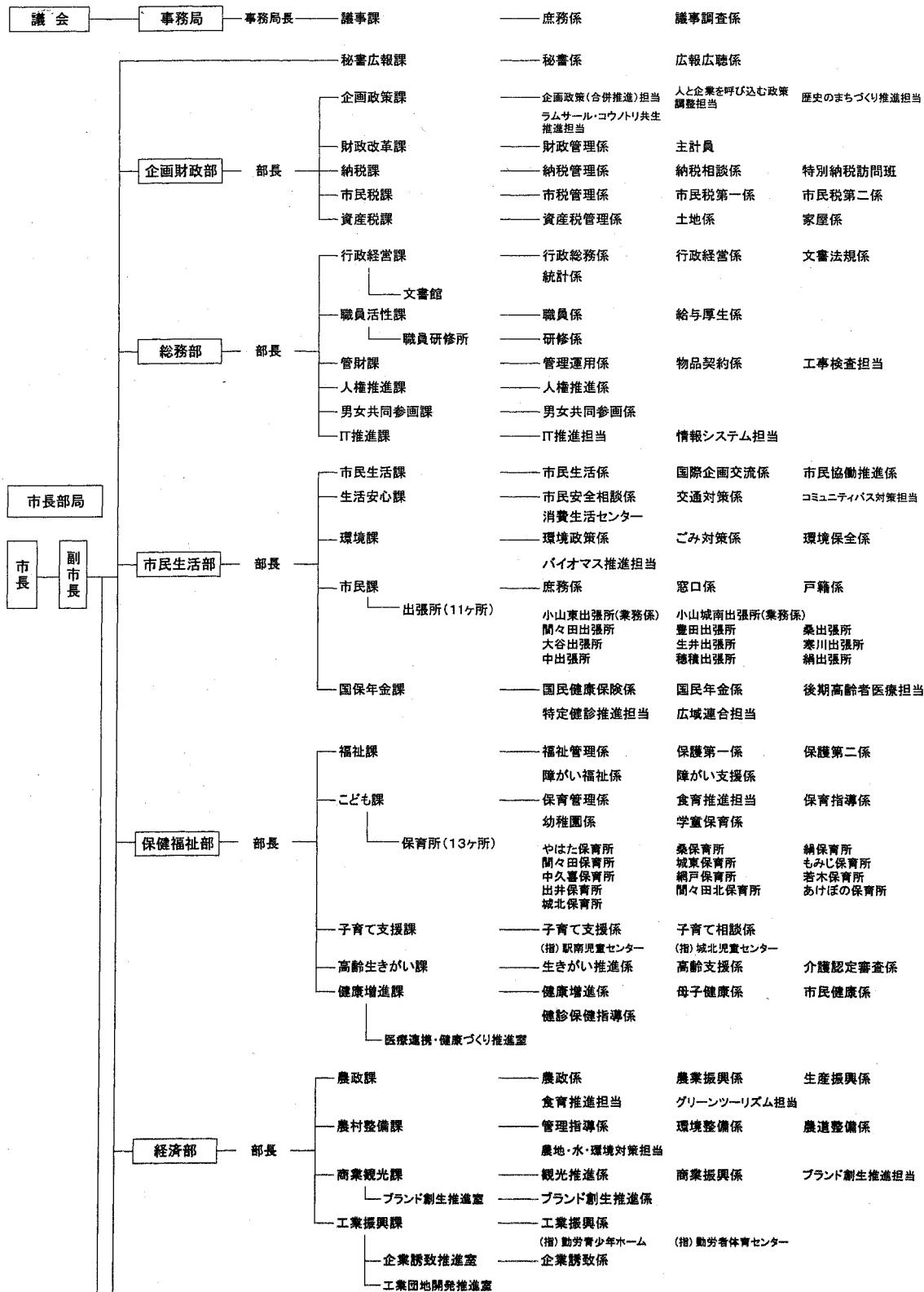
歴代教育長

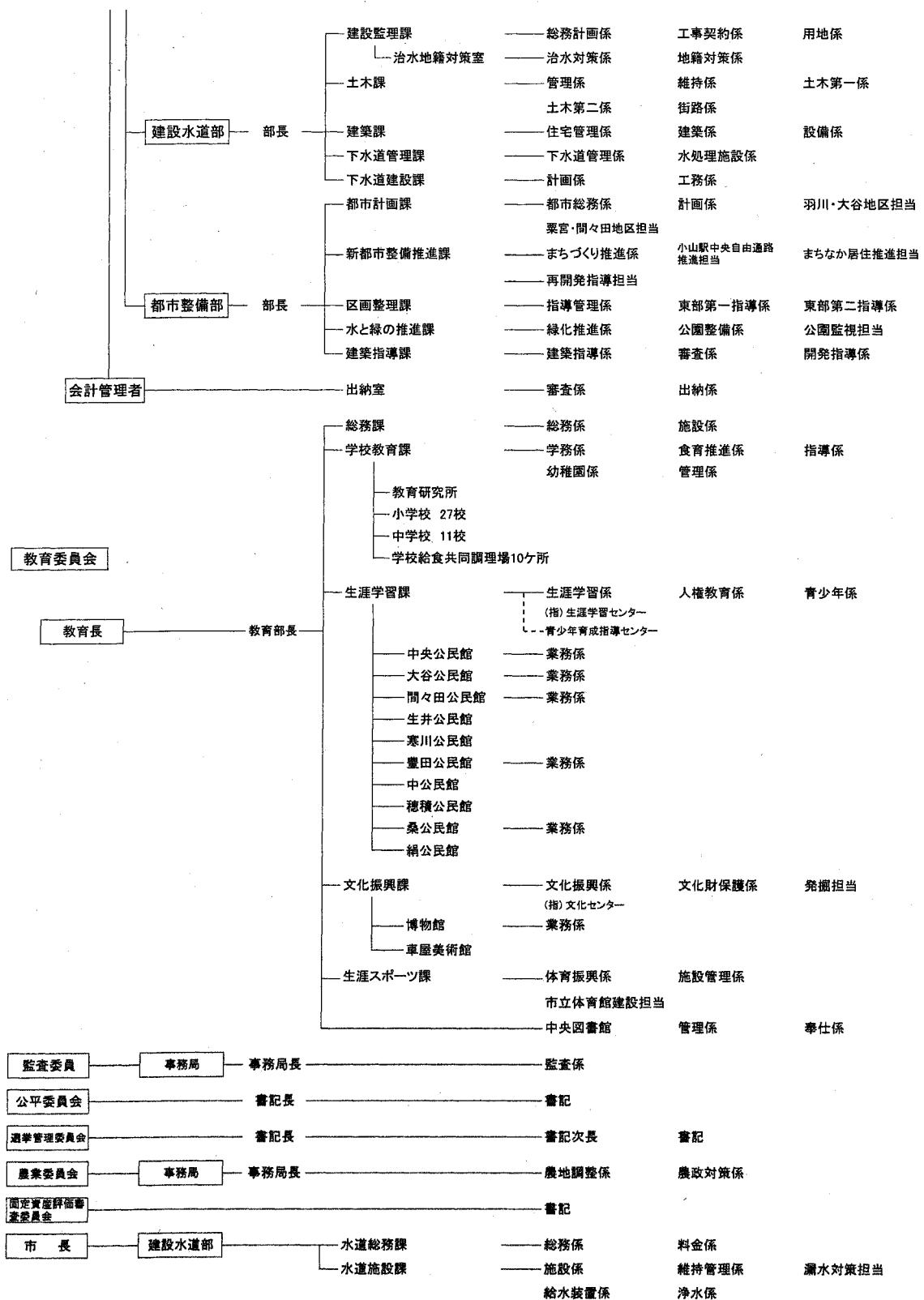
氏名	在任期間
鈴木 長治	昭 29. 3. 31 ~ 昭 42. 7. 4
坂本 重造	昭 42. 7. 5 ~ 昭 46. 6. 30
神川 操	昭 46. 9. 1 ~ 昭 50. 12. 23
慶野 恒徳	昭 51. 4. 5 ~ 平 3. 3. 31

氏名	在任期間
小山 正義	平 3. 4. 1 ~ 平 6. 4. 20
菅沼 基訓	平 6. 7. 1 ~ 平 14. 3. 31
清水 悟	平 14. 4. 1 ~ 平 23. 3. 31
酒井 一行	平 23. 4. 1 ~ 現在

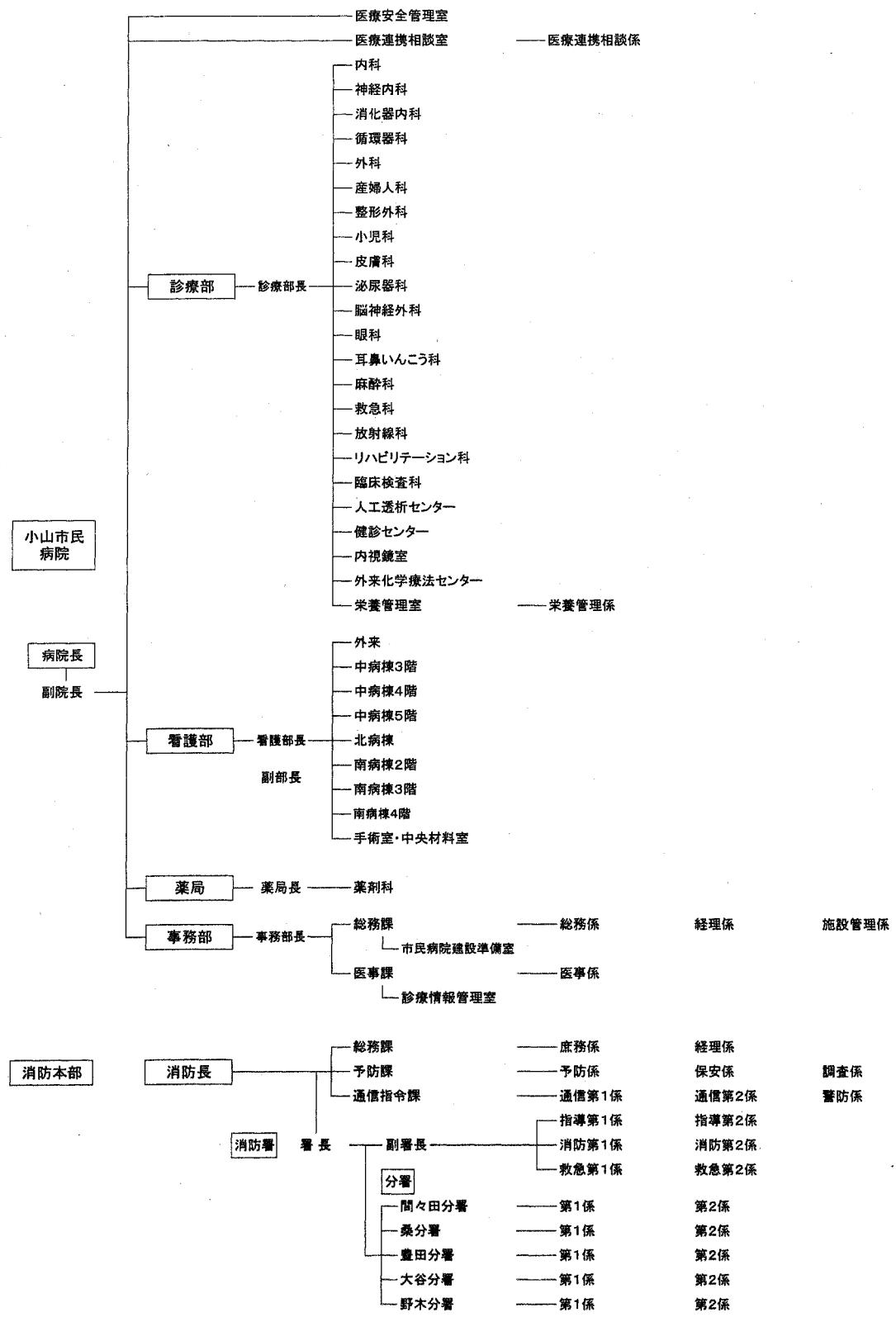
小山市行政組織機構図

職員定数
平成23年4月1日現在 1,888人





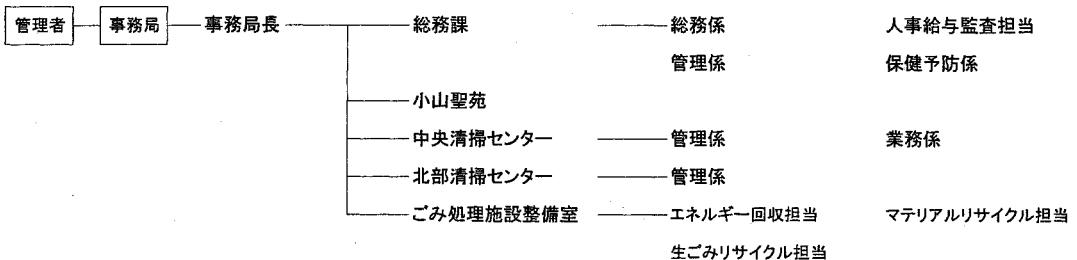
(指)は、直営施設から指定管理施設となったもの
 [その他の指定管理施設] 中央市民会館、道の駅思川、小山市まちの駅、ふれあい健康センター、学童保育館(25ヶ所)、勤労者福祉会館、男女共同参画センター、綿ふれあいの郷、市営駐車場(2ヶ所)、公共駐輪場(7ヶ所)、都市公園(5ヶ所)



【参考】

平成23年4月1日現在

【小山広域保健衛生組合】(出向)



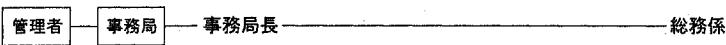
【社会福祉協議会】(派遣)



【(社)シルバー人材センター】(派遣)



【栃木県南公設地方卸売市場事務組合】(派遣)



【(財)小山市まちづくり協会】(派遣)



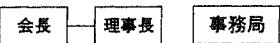
【小山市土地開発公社】(併任)



【(財)小山市勤労者共済サービスセンター】(派遣)



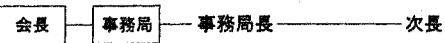
【(財)小山市体育協会】(派遣)



【(財)小山市農業公社】(派遣)



【一般社団法人 小山市観光協会】(併任)



【他自治体派遣等職員】(派遣等)

栃木県派遣(国保年金課付、消防義務課付)

休職(職員活性課付)

平成23年度版

小山市統計年報

平成23年12月

編集・発行・印刷

小山市総務部行政経営課

Tel 0285-22-9312
